

三木市記者発表資料 (令和3年5月25日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
産業振興部 農業振興課	課長 木下穂玄 (内線 2220)	農業政策係 山田錦振興係	0794-82-2000 (内線2219、2209)

タイトル
農業と農村の振興に向けたアンケート調査結果 ～10年20年先を見据えて～
内容
<p>市内の農業者が抱える農地の維持や事業継承に関する課題をつかみ、今後の農業政策に生かすためアンケートを行いました。</p> <p>1 調査期間 令和2年8月～10月</p> <p>2 調査結果と考察</p> <p>(1) 回収状況 令和3年2月までに118集落のうち112集落の2,743人(土地持ち非農家が含まれる。)から回答を得た。</p> <p>(2) 年齢構成と農業形態について 農業者の年齢構成は、51歳～80歳が全体の80%を占め、その中でも、定年を迎えた61歳～70歳が全体の35%、71歳～80歳が27%を占めている。 また、農業形態は、農外所得の方が農業所得より多い「第2種兼業農家」が大半を占めている。</p> <p>(3) 将来の担い手について 将来に向けては、10年、20年先の担い手となる41～50歳の若い世代は、現状の規模・形態を維持したいと考えていて、農機具の故障時の対応は、買い替えを考えている方も多く(45%)いるが、維持、更新に係る費用に不安を抱えており、将来の担い手となる農業者は減少傾向にある。</p> <p>(4) 今後の振興策について 今後の農業と農村の振興策に関しては、農地の集積や作業の受委託に関心があり、新たな担い手や集落営農等の検討及び小規模兼業農家への支援を希望している。</p> <p>(5) アンケート結果の活用について この調査の結果をさらに分析し、地域とともに今後の農業振興施策や山田錦の振興に取り組みます。</p>
セールスポイント
<p>10年20年先を見据えた農業のかたちを農業者とともに考えていく、また日本一の生産量を誇る山田錦の振興、ブランド化に向けた取り組みを拡大していくため、令和3年度から従前の「農業振興係」に加えて「山田錦振興係」を新設しました。</p>